

(別紙様式) 令和6年度 1人1台端末の活用による実践事例

学校名		岡山県立高梁高等学校		
実践者等		成廣健一	実践日	令和6年11月21日
実践場面 <small>(教科・科目(単元名)、学校行事等)</small>		数学・数学 I 『新編数学 I』第5章 データの分析 GIGA 参観日 2024 in 岡山県		
対象生徒(学年等)		普通科1年次		
育成を目指す資質・能力		<input type="checkbox"/> 知識・技能(技術) <input checked="" type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input checked="" type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	<input checked="" type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input checked="" type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input checked="" type="checkbox"/> 思考やデータの可視化 <input checked="" type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input checked="" type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input checked="" type="checkbox"/> 思考を促す活用		
		<input type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input type="checkbox"/> 効率化や省力化		
		<input type="checkbox"/> その他()		
	家庭学習	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 探究 <input type="checkbox"/> 反転学習 <input type="checkbox"/> 補習・定着		
実践の内容				
【授業】 1 導入：データの代表値の確認 2 本時の目標の確認：データの値の散らばり具合を数値化する方法を比較する 3 展開1：各自のデータをヒストグラムで確認し、偏差の絶対値の和の値を求め、ヒストグラムと値の関係を個人で考える <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> 【使用するアプリ：スプレッドシート】 </div>  </div> 4 発表：グループ内での対話で個人の考えを共有するとともに、FigJamに考えを書き込み、アプリを活用し他グループの意見を確認し、思考を深める <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> 【使用するアプリ：FigJam】 </div>  </div> 5 展開2：偏差の2乗の和の値とヒストグラムの関係を考え、FigJamに書き込む 【使用するアプリ：スプレッドシート、FigJam】 6 本時の振り返り：データの特徴を可視化する計算手法は複数あることを確認する				
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) ○自分で作成したデータと他人のデータの違いをヒストグラムで比較しておく ○データの偏差の和が0になることから、他の計算手法を考えておく (本時後) ○可視化する計算手法は複数あるが、偏差の2乗の和を利用する理由を考える				

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)